

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	271 火葬場管理運営事業				
総合計画	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			担当部	環境部
	基本計画【施策】	5-③快適な住環境をつくる			担当課	環境課
関連予算科目	一般	会計	04 款 衛生費	01 項 保険衛生費	03 目	環境衛生費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	火葬場管理運営費		細事業名 (事業2)	火葬場管理運営事業
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託	対象	全市民	
事業期間	開始年度		終了予定年度			
事業の目的	最期のお別れの場にふさわしい施設として、適正な維持管理を行う。					
事業の概要	火葬予約の受付 施設、設備等の維持管理					

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	火葬件数 193件					
課題	停電時に火葬対応ができない。 火葬件数が減少しても火葬業務の委託料は新居分とほぼ同額である。					
コスト	事業費 (A)	当初予算額	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		決算 (見込) 額	27,666 千円	19,462 千円	17,974 千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	千円	千円	千円	
		一般財源	28,695 千円	18,816 千円	17,974 千円	
	人件費 (B)	6,306 千円	6,215 千円	6,967 千円		
	人工 (職員数の内訳)	0.8 人	0.8 人	0.9 人		
	トータルコスト (A) + (B)	35,001 千円	25,031 千円	24,941 千円		
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	火葬件数	件	目標	200	200	200
			実績	210	193	
		達成度	105.0%	96.5%		

3. 評価 (Check)

総合判定	<p>A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>火葬業務は行政の所管する事務であるため、継続して実施する。</p>	
------	---	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	委託料について、精査及び業者との交渉を行い、H26年度予算に反映させた。 入出火葬場の閉鎖時期を検討する。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	272 新居斎場管理運営事業				
総合計画	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			担当部	環境部
	基本計画【施策】	5-③快適な住環境をつくる			担当課	環境課
関連予算科目	一般	会計	04 款 衛生費	01 項 保険衛生費	03 目	環境衛生費
	予算事業名	基本事業(事業1)	火葬場管理運営費		細事業名(事業2)	新居斎場管理運営事業
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託	対象	全市民	
事業期間	開始年度		終了予定年度			
事業の目的	最期のお別れの場にふさわしい施設として、適正な維持管理を行う。					
事業の概要	火葬予約の受付 施設、設備等の維持管理					

2. 事業の実績(Do)

事業実績	火葬件数 337件					
課題	駐車場の不足 葬儀、火葬までの待機日数が長いという不満の声が多い。					
コスト	事業費(A)	当初予算額	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		決算(見込)額	32,883 千円	34,510 千円	36,010 千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	33,057 千円	37,719 千円		
		一般財源	30,897 千円	31,041 千円	33,377 千円	
	人件費(B)	2,160 千円	6,678 千円	2,633 千円		
	人工(職員数の内訳)	3,245 千円	3,191 千円	3,117 千円		
	トータルコスト(A)+(B)	0.4 人	0.4 人	0.4 人		
		36,302 千円	40,910 千円	39,127 千円		
活動指標	内容	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		件	目標	350	350	350
			実績	338	337	
達成度	96.6%	96.3%				

3. 評価(Check)

総合判定	<p>A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>新居斎場周辺の環境整備のため、斎場進入道路の整備をする。併せて、駐車場用地の確保と整備を検討していく。</p>	
------	---	--

4. 今後の事業の方向性(Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	待機日数解消のため、斎場増築工事を行った。道路整備に合わせ、駐車場の確保の可否について検討する。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	275 合併処理浄化槽補助事業				
総合計画	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			担当部	環境部
	基本計画【施策】	5-③快適な住環境をつくる			担当課	下水道課
関連予算科目	一般	会計	04 款 衛生費	01 項 保険衛生費	03 目	環境衛生費
	予算事業名	基本事業(事業1)	合併処理浄化槽補助事業	細事業名(事業2)	合併処理浄化槽補助事業	
実施主体	市	実施方法	その他	対象	特定の市民 <small>下水道事業計画区域を除く地域の設置者</small>	
事業期間	開始年度	平成7年度	終了予定年度	-		
事業の目的	公共下水道事業計画区域を除く地域に合併処理浄化槽設置の補助を行い、生活排水による公共水域の水質汚濁を防止する。					
事業の概要	公共下水道事業計画区域を除く地域を対象に合併処理浄化槽の設置整備について、設置費の一部を補助する。 新設 89基 付替え 34基					

2. 事業の実績(Do)

事業実績	新設 5人槽 48基 7人槽 37基 10人槽 4基 付替え 5人槽 19基 7人槽 14基 10人槽 1基
課題	予算の範囲内で補助することから、申請件数の増加に伴い年度途中で補助金の受付が終了となる。

		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
コ	事業費(A)	当初予算額	63,365 千円	59,815 千円	59,789 千円		
		決算(見込)額	62,202 千円	57,225 千円	千円		
ス	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	21,151 千円	18,167 千円	23,640 千円		
		一般財源	41,051 千円	39,058 千円	36,149 千円		
ト	人件費(B)		7,784 千円	7,568 千円	7,159 千円		
	人工(職員数の内訳)		1.0 人	1.0 人	1.0 人		
	トータルコスト(A)+(B)		69,986 千円	64,793 千円	66,948 千円		
活	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
動 指 標	補助金適正処理率=適正処理件数/申請件数		%	目標	100	100	100
	※適正処理件数: 受付から2週間以内に決定通知を発送できた件数			実績	100	100	
			達成度	100.0%	100.0%		

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 合併処理浄化槽設置者に対して予算の範囲内で設置費の一部を補助することにより、生活排水による公共水域の水質汚濁を防止することができた。	必要性 有効性  優先性 効率性
------	---	--

4. 今後の事業の方向性(Action)

今後の方向性	事業の方向性	改善(その他)
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	単独浄化槽又は汲み取り便槽からの付替えの補助限度額の見直しを行い、より公平に補助できるようになった。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名 事業No	299 し尿処理事業費			
総合計画	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち		担当部 環境部
	基本計画【施策】	5-③快適な住環境をつくる		担当課 衛生課
関連予算科目	一般 会計	04 款 衛生費	02 項 清掃費	03 目 し尿処理費
	予算事業名	基本事業(事業1) し尿処理事業費	細事業名(事業2) し尿処理事業費	
実施主体	市	実施方法 一部又は全部委託	対象	特定の市民 汲み取り世帯
事業期間	開始年度	-	終了予定年度	-
事業の目的	市内の汲み取りトイレのし尿収集を効率的に進め衛生環境の向上と公共用水域の水質保全を図る。			
事業の概要	市民からの申し出によりし尿収集運搬を行う。			

2. 事業の実績(Do)

事業実績	し尿汲み取りを13,878件、2,236kℓ実施した。					
課題						
コスト			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	事業費(A)	当初予算額	185,266 千円	185,675 千円	190,303 千円	
		決算(見込)額	172,694 千円	172,685 千円		
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	33,364 千円	31,109 千円	31,526 千円	
		一般財源	139,330 千円	141,576 千円	158,777 千円	
	人件費(B)	7,677 千円	7,743 千円	4,399 千円		
	人工(職員数の内訳)	1.0 人	1.0 人	0.6 人		
トータルコスト(A)+(B)	180,371 千円	180,428 千円	194,702 千円			
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	汲み取り適正実施率 (適正処理件数) / (申請件数)	%	目標	100	100	100
			実績	100	100	
達成度		100.0%	100.0%			

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 し尿収集運搬は市の自治事務であるため継続して実施している。	<p>必要性</p> <p>有効性 優先性 効率性</p>

4. 今後の事業の方向性(Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
	今後の取組内容(課題に対する改善等)	適正な汲み取り業務を継続して実施する。 また、衛生環境に配慮したこまめな汲み取り申し出を促す対応をしていく。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	300 し尿処理費				
総合計画	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			担当部	環境部
	基本計画【施策】	5-③快適な住環境をつくる			担当課	衛生課
関連予算科目	一般	会計	04 款 衛生費	02 項 清掃費	03 目	し尿処理費
	予算事業名	基本事業(事業1)	し尿処理費		細事業名(事業2)	し尿処理費
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託	対象	特定の市民 汲み取り世帯、浄化槽世帯(下水道以外)	
事業期間	開始年度	-	終了予定年度	-		
事業の目的	し尿や浄化槽汚泥の処理を適切に進めるため衛生プラントの効率的な運営に努めるとともに市内の衛生環境の向上と公共用水域の水質保全を図る。					
事業の概要	①衛生プラントの安全かつ効率的な管理運営を実施する。 ②衛生プラントの施設改修を実施する。 ③浄化槽管理者に対する啓発等県支援を行う。					

2. 事業の実績(Do)

事業実績	①設備修繕11件、設備点検整備5件等実施した。 ②施設改修工事に着手した。(工期：平成26年2月28日～平成28年8月31日) ③浄化槽パトロール30件及び新規設置者に対する浄化槽管理講習会を実施した。					
課題	施設の老朽化 効率的な施設運営					
コスト			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	事業費(A)	当初予算額	149,801 千円	141,098 千円	363,352 千円	
		決算(見込)額	134,207 千円	120,769 千円	千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円	15 千円	99,700 千円	
		一般財源	134,207 千円	120,754 千円	263,652 千円	
	人件費(B)		16,633 千円	16,777 千円	19,777 千円	
	人工(職員数の内訳)		2.2 人	2.2 人	2.6 人	
トータルコスト(A)+(B)		150,840 千円	137,546 千円	383,129 千円		
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	ランニングコスト率 (基準年：平成23年度)		%	目標	100	100
				実績	98	96
(年間処理費用) / (年間搬入量)		達成度	98.0%	96.0%	千円	

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 築50年が経過して設備的に限界にきている衛生プラントにおいて適正かつ効率的に処理を行った。	必要性 有効性  優先性 効率性
------	--	--

4. 今後の事業の方向性(Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	衛生プラントの安全かつ効率的な管理運営を目指すため、既存施設の運転管理を継続しながら、老朽化した衛生プラントの改修工事を平成28年8月末までに実施する。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	301 環境保全調査指導事業			
総合計画	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち		担当部	環境部
	基本計画【施策】	5-③快適な住環境をつくる		担当課	環境課
関連予算科目	一般 会計	04 款 衛生費	03 項 環境対策費	01 目 環境対策費	
	予算事業名	基本事業(事業1)	環境対策関係経費	細事業名(事業2)	環境保全調査指導事業
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営	対象	全市民
事業期間	開始年度		終了予定年度		
事業の目的	市民の健康保護及び生活環境の保全のため、環境調査を実施し、公害防止の早期指導を行う。				
事業の概要	市民生活の基本となる「環境」を保全するため、河川水質調査、騒音測定等の分析調査を行う。				

2. 事業の実績(Do)

事業実績	【水質】河川水質調査(市管理河川7河川)、河川通日調査(4河川、年2回、24時間調査)、河川流域調査(4河川、年2回調査) 【騒音】環境騒音調査(市内75箇所)、道路騒音調査(7路線、12測点)、自動車騒音常時監視(3路線、区間延長2.2km)					
課題	毎年度、継続して調査を実施することにより、経年変化に伴う環境の変化を把握する必要がある。					
コスト	事業費(A)	当初予算額	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		決算(見込)額	15,087 千円	11,850 千円	10,511 千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など				
		一般財源	9,859 千円	7,740 千円	10,511 千円	
	人件費(B)	6,306 千円	6,215 千円	6,967 千円		
	人工(職員数の内訳)	0.8 人	0.8 人	0.9 人		
	トータルコスト(A)+(B)	16,165 千円	13,955 千円	17,478 千円		
活動指標	内容	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		%	目標	100	100	100
			実績	100	100	
達成度	100.0%	100.0%				

3. 評価(Check)

総合判定	<p>A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>水質汚濁防止法、騒音規制法、大気汚染防止法、悪臭防止法に基づいて調査していく。法に基づき規制する必要がある。</p>	<p>必要性</p> <p>有効性 優先性</p> <p>効率性</p>
------	--	--------------------------------------

4. 今後の事業の方向性(Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	25年度は各法令に基づく調査を実施した。 今後も継続して調査、指導を継続していく。